

第2学期終業式 式辞

1年のうちで一番期間の長い2学期も本日で終わりとなります。みなさんにとっての2学期は長かったでしょうか。それとも短かったでしょうか。

2学期が始まって、例年であれば地区英語弁論大会などが行われるはずでしたが、コロナ禍の影響もあり中止となる対外行事もありました。

そのような中であって、3年生にとっては、中学校生活でも大きな行事である修学旅行が、9月中旬に実施されました。行き先を変更して実施しましたが、3年生の2人は、その状況をしっかりと受け入れ、「たいお・う・し・て・マス・か」を意識して充実した旅行になるよう、自分たちでコースなどを考えて無事実施することができました。

1年生は、9月下旬に初めての支部中体連新人卓球大会を経験し、他の学校の生徒との試合を経験することによって、自分の練習における課題を見つけ、その後の練習にさらに打ち込むことができたことと思います。

そして、今年度湯本地区文化祭の発表部門がなくなり、11月6日に行われたミニ湯中祭では、4名の生徒のみなさんが、日頃から空き時間などを使って自主的に練習してきた成果を出し切って、保護者の皆さんを前にして堂々と発表することができました。保護者の感想の中には、「名前はミニ湯中祭だけど、私にとっては全然ミニではない大きな湯中祭でした。」というコメントがあり、とてもうれしかったことを覚えています。

その他にも、ふるさと学習や職場体験学習に取り組み、湯本地区について深く知るきっかけにもなりました。コロナ禍にもかかわらず、目的をもって自分たちで良く考えて行動し、一回り精神的にたくましく成長したように思います。

さて、明日からの冬休みは、3年生と1年生では過ごし方が違ってきます。

3年生は、いよいよ高校入試に向けての勝負の冬休みに入ります。他の中学校の3年生も、第1志望校に合格するために、この冬休みを最後のチャンスだと思って必死にがんばろうとしているはずです。みなさんも今まで以上に意識を高く持って、いつもとは違う冬休みを、進路実現のための時間に費やして地道にがんばってください。

1年生は、今年の取り組みを十分に振り返りましょう。今年なかなかできなかったことは何か、やり残したことは何かを考えてください。そして、さらに自分自身を磨くために、新しい年の抱負をしっかりと考え、その抱負に近づけるように一步一步前進できるようにしていきましょう。

来年は、コロナ禍がおさまり、今年開催されなかった東京オリンピックを見れることを期待しています。

そのためには、これからも「新しい生活様式」を着実に実践して、これ以上の感染が広がらないよう行動をしていく必要があると思います。冬休み中は健康に気をつけて、3学期の始業式に、皆さんと元気に会えることを楽しみにしています。

令和2年12月23日

天栄村立湯本中学校長 渡部 幹雄